

杉山新十郎

すぎやま・しんじゅうろう

福山藩吏、官吏、尾道市長

経歴

生:天保7年(1836年)

没:大正13年(1924年)6月30日、享年89歳、賢忠寺に葬る

幕末のころ	—	国語となる
明治2年(1869年)	33歳	福山藩少属、校務掛
明治4年(1871年)	35歳	啓蒙所発起人
明治5年(1872年)4月13日	36歳	深津県学校掛
明治5年(1872年)6月10日	36歳	小田県少属、学務課長
明治6年(1873年)	37歳	小田県権大属・権中属
—	—	安佐・佐伯・安芸郡長
明治31年(1898年)8月16日～38年(1905年)10月13日	62～69歳	尾道市長(初代、2代)

生い立ちと学業、業績

生い立ち

福山藩士。天保7年(1836年)杉山新吉の子に生まれた。号は不求居士。

業績

杉山氏は江戸語であったが、幕末ごろ国語となる。

明治2年(1869年)10月少属に任じ校務掛となる。

明治4年(1871年)啓蒙所設立に際し、担当者として発起人になる。

明治5年(1872年)4月13日深津県一・二等出仕学校掛。

明治5年(1872年)6月10日小田県少属一・一等出仕。

学務課長として啓蒙所・小学校・教員伝習所の設立に尽力した。

明治6年(1873年)権大属・権中属に任じた。

のち安佐・佐伯・安芸郡長をつとめた。

明治31年(1898年)8月16日より明治38年(1905年)10月13日まで尾道市長(初代、2代)をつとめた。

賢忠寺に葬る。

出典1:『福山藩の教育と沿革史』、2・152頁、清水久人著、鷹の羽会本部阿部正弘公顕彰会編刊、1999年8月20日

関連情報1:『福山学生会雑誌(第58号)』、6頁、「啓蒙社及啓蒙所設立の由来」、杉山新十郎著、福山学生会事務所編著、大正12年10月31日

2005年5月9日更新:本文・出典●2006年3月31日更新:タイトル・本文●2008年2月22日更新:経歴●2008年6月12日更新:写真追加・経歴●2012年2月28日更新:本文●2013年10月31日更新:関連情報●